

伊藤千代子の信念貫く姿見て

映画「わが青春つきるとも」3月完成へ

苦小牧市立中央図書館で手紙保管

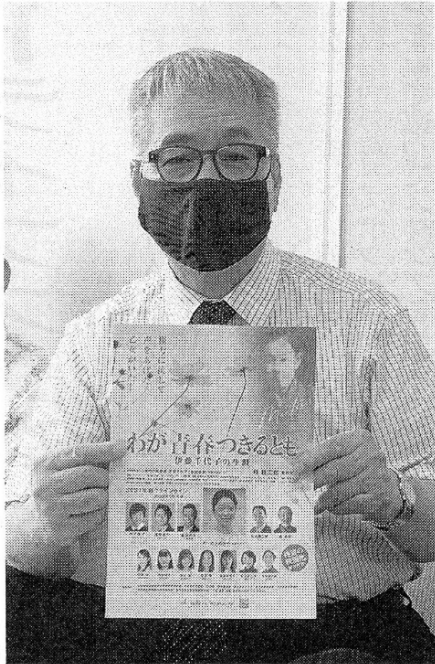
長野県出身の社会活動家、伊藤千代子(1905～29年)の人生を描いた劇映画「わが青春つきるとも」伊藤千代子の生涯(120分)を手掛ける桂壮三郎監督(73)が6日、苦小牧市役所で記者会見し、来年3月の完成予定を発表した。同6日以降、市内での上映を予定している。千代子は国民主権や男女平等を訴え続けるも国の弾圧を受け、24歳で死去した。獄中で書いた手紙が市立中央図書館に保管されており、書面が劇中に登場する。

いる」と、約40人の応募の中から抜てきした。脇はベテラン俳優勢が固める。

撮影は、千代子の故郷である長野県をはじめ関東周辺で10月から11月上旬にかけて行う。手紙は同図書館から貸し出しを受ける予定。桂監督は「最期まで自分の思いを貫いた千代子の姿を通し、現代の若い子たちが政治について考えたり、声を上げたりするきっかけになれば」と語る。

共産党員の千代子は治安維持法違反で投獄され、拷問を受けて転向を迫られるが、屈することなく仲間を励まし続けた。夫・浅野晃の変節に直面しながら、急性肺炎で亡くなるまでの一生涯を描いたヒューマンドラマ。浅野は戦後、知人の招きで苦小牧で過ごした縁もあり、千代子が義母、義妹に自身の心境などを綴った手紙4通を当時の中央図書館長に託していた。主演の千代子役には、新

人女優の井上百合子さん(26)を起用。桂監督が「雰囲気や顔立ちが本人に似て



「感染症対策を万全にし、撮影に臨みたい」と語る桂監督